

＜サンプル投稿＞ FD 活動の棚卸し

活動実績（今後の構想も含めてよい）	概要	自分の役割	懸念点・改善案（そのために必要なことを含む）
例) FD 講演会	年 1 回外部講師を招いて FD 関連のトピックで講演会を実施	責任者・担当者・見学者・参加者・その他（ ）	出席率は高いが、その場限りで終わってしまって効果があるか心配
実績 FD セミナー	1 年に 1 回、全学の FD 担当者と協力して、中堅の教員を対象とした講演会を学部ごとに実施。講演会では、授業改善のための TIPS について、教育学部の教員が講演。	責任者・担当者	出席率が低く、また、出席をしても役に立ったという声が聞こえなかった。今後は、ARCS モデル等のすぐに使える ID の知見を紹介し、自身の授業の分析等を行ってもらおう。また、日本教育工学会の FD プログラムで学習したことを伝えたり、認定添削者講座を修了した後は、他の教員のシラバスに対して改善提案ができるようにしたい。
実績 新任教員研修会	毎年 4 月になると、着任した教員、新たに授業を担当する非常勤講師、ポスドクに対して、新任教員研修会を実施。研修会は学部ごとに開催し、対象学部のカリキュラムの説明、シラバスで記載すべき内容等について説明している。	責任者・担当者	出席率は高く、非常に役だったという声も聞くものの、学期最後の授業アンケートの結果では、新任教員の授業に対する評価はあまり高くない。今後は、ARCS モデル等のすぐに使える ID の知見を活用し、を紹介し、自身の授業の分析等を行ってもらおう。また、日本教育工学会の FD プログラムで学習したことを伝えたり、認定添削者講座を修了した後は、他の教員のシラバスに対して改善提案ができるようにしたい。
実績 FD シンポジウム	3 か月に一度、大学教育センターが提供する外部講師を招いて行う講演会へ参加。講	参加者	FD と関連する重要そうな情報が得られるが、自大学の教員に対してはもう少しかみ砕いて伝えたい。特に本学のディプロマポリシーを踏まえて、他大学がディプロマポリシーを意識としてどのようにカリキュラムを構成して

△	演会では大学におけるFDの重要性や他大学の取組、文科省の政策等がテーマである。		いるのか、学習者からの満足度にどのようにつなげるのか等について、他大学の取り組みを紹介できるような人を講師として招待したい。
実績 〇〇大学:FD オンラインセミナー	昨年、〇〇大学が主催するFDセミナー(一日)へ出席。セミナーでは、コロナ禍でどのようにオンラインと対面の授業を組み合わせる実施すると良いか、他大学の取組事例を聞いた後、5名のグループで実践例をお互いに紹介した。	参加者	自大学でも使えそうな実践例はあったが、どのようにして各教員を支援すると良さそうか、いまいちイメージがわからない。同じような問題で困っている教員はいそうだが。今後は取組事例をIDの観点から分析し、学習効果がありそうなポイントを自分なりに解釈し、資料としてまとめて学内向けのウェブサイトや資料等の形式でまとめたい。そのためにも、まず、日本教育工学会のFDワークショップへ参加して、IDの基礎知識やスキルを身につけたい。
今後の構想 ワークショップ	次年度のシラバスを書く2月頃、教員向けに、実際にシラバスを持ち寄って改善するワークショップを開催したい。授業の評価が高い教員が授業の評価が低い若手教員に対してアドバイスする体制作りを進めたい。	責任者・担当者	実際にどのようにワークショップを運用すると良いのか、単純にシラバスを見せあって話し合えでは駄目な気がするが、具体的にどのようにすればよいのかがわからない。そのため、まず、日本教育工学会のFDセミナーや熊本大学が提供する教育改善スキル修得オンラインプログラムへ参加して、授業改善を学習するために何をすべきか知り、自大学の教員向けにカスタマイズして提供することを検討したい。